

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	243	都市モノレール多言語化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ			
担当部課名	土木建築部	都市計画・モノレール課	事業実施（予定）年度 平成 27 ～ 33 年度	人に優しい交通手段の確保			
事業内容	沖繩都市モノレールの利便性を向上し、国内外観光客のモノレール利用促進を図るためガイドブック作成、駅周辺案内サイン更新、車両多言語化事業を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		26年度	26年度(繰越)	27年度	27年度(繰越)	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	-	-	-	280,460
		(b) 予算現額	0	-	-	-	280,460
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	-	-	0
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		0	-	-	-	280,460
	B. 執行済額		0	-	-	-	280,450
	うち交付金充当額		0	-	-	-	224,360
	C. 次年度繰越額		0	-	-	0	0
	執行率 (%) (B/A)		-	-	-	-	100.0%
予算の状況の説明		①ゆいレールガイドブック及びウェブサイトの更新 ②沖縄都市モノレール株式会社が整備する車両内の多言語表示切り替えの案内表示器液晶モニター設置に対する補助金					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	①ガイドブック（英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語）の更新、増刷（計13万4千部）及びポータルサイトの更新	目標				・13万4千部（ガイドブック） ・ポータルサイトの更新	
		実績				・13万4千部（ガイドブック） ・ポータルサイトの更新	
	②車両多言語化のための改良への支援 12編成（24両）分	目標				12編成（24両）分	
実績					12編成（24両）分		
達成状況説明	①ITを活用したガイドブックについては当初目標どおり13.4万部を作成した。（日本語2.2万部、英語3.5万部、繁体字2.5万部、簡体字3万部、韓国語2.2万部）また、あわせてポータルサイトをリニューアルした。 ②当初の予定通り12編成（24両）の改良を完了した。これにより、モノレール車両内の案内表示器液晶モニターが多言語表示となった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）		基準値	26年度	27年度	28年度	目標値（33年度）
	モノレール乗客数（国籍問わず） 42,099人/日 以上	目標				42,099人/日	55,316人/日
		実績				47,463人/日	
		目標					
		実績					
進捗状況説明	多言語ガイドブックを作成・配布することにより、外国人観光客のモノレール利用を誘因することができ、また、車両内の案内表示器液晶モニターを多言語化表示することにより、外国人利用者の利便性向上が図られた。近年、本県の観光客数は順調な伸びを見せており、観光客をモノレール利用に誘引し、利便性を高めることで、成果目標達成につながったと考えられる。今後も本県の観光客数の増加に伴い、モノレール乗客数も順調に推移することが見込まれる。						

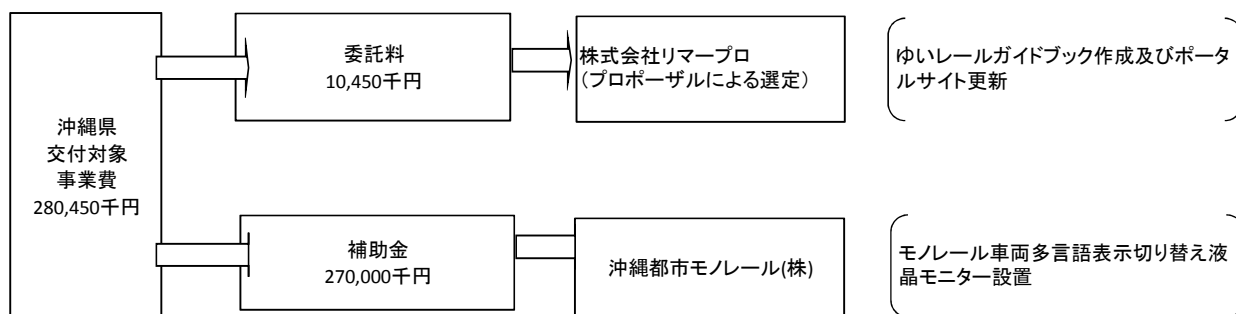
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ガイドブック及びウェブサイトの掲載内容について、より一層モノレールの利便性を高めるために観光客のニーズを把握する必要があると考える。</p>	<p>・観光客のモノレール利用をさらに高めるため、ガイドブックを設置・配布する場所を再度検討する。 ・外国人観光客数の国籍割合に応じて、ガイドブックの各言語の作成部数を調整する。 ・ガイドブック及びウェブサイトの掲載内容の充実を図るため、観光客のニーズに関する情報収集を行う。</p>

今後の取り組み方針

・日本人のみならず、外国人観光客の方に旅行中の移動手段としてモノレールをより一層利用してもらえるよう、利便性向上のため引き続きガイドブック及びウェブサイトの内容の充実を図るとともに、継続的に更新を行っていく。
 ・平成29年度は駅舎看板の更新、平成30年度は駅周辺舗道上案内サインの更新を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
310,450	280,450	224,360	56,090	0	0	30,000



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・受託業者は公募型プロポーザル方式により企画提案内容、実施体制、実績等と勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目、使途については、事業目的の観点から必要なものを実施し、完了後の検査を実施することで、支出内容の確認を行っている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	